

SEEMP(二酸化炭素放出抑制航行手引書)を使用していますか。

IMO では、温室効果ガス (GHG) 規制に呼応して、国際海運におけるエネルギー効率に関する指標を導入することにし、2013 年から新造船の EEDI (Energy Efficiency Design Index) や就航船の SEEMP (Ship Energy Efficiency Management Plan) の保持が強化されています。既存船へのモニタリングツールとして、EEOI (Energy efficiency Operational Indicator ; トンマイル当たりの CO₂ 排出量) が挙げられています。また燃料報告制度に関する欧州規則が採択されており、報告を怠った船舶に対しては罰則が定められており、海運企業にも低炭素化社会への対応が要請されています。

当協会が作成した SEEMP のパンフレット (CD 付) を使用してみませんか？

ご要望があれば、ご相談に応じます。

燃料効率を高める船舶運航実績の手引きにしてください。

- ・データ入力で即、自動計算。グラフ化による「見える化」で相互理解を！
- ・自己分析に必要なクールな第三者の目を！
- ・大きな投資を伴わない運航上の工夫により関係者全員がメリットを享受！

当協会では、「内航船舶の省エネルギー診断事業」も実施しています。

1. 省エネ推進実務研修講座 (ご要望に応じて開催します)

ご依頼船社に訪問し、研修講座開催時の費用；

- ・10,000 円/人 × 参加員数 (テキスト代、消費税含む)
- ・講師料 60,000 円及び、旅費・交通費 (当協会旅費規程による) 実費。

2. 省エネ支援コンサルタント (2～3 時間程度終了迄)

省エネルギー診断ソフトで作成した運航データの処理方法や報告書の書き方等の再講習や船舶管理業務、SEEMP 等についても並行して相談をお受けします。

30,000 円/人 (消費税含む) + 旅費・交通費 (当協会旅費規程による) 実費。

3. 個船別省エネ診断 (消費税含む)

船社を対象に各船の省エネ診断を有料にて実施します。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1) 基本分析・診断報告書作成 | 200,000 円/隻 |
| 2) 運航データの電子化 (船社要請) | 30,000 円/隻 |
| 3) 訪船調査 (船社要請) | 50,000 円/隻 |
| 4) 旅費・交通費 (訪船調査、船主報告) | (当協会旅費規程による) 実費/隻 |

～お問い合わせは、一般社団法人日本船舶機関士協会～

(連絡先) 〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目 5 番地 海事センタービル 5 F

(電話) 03-3264-2518 (FAX) 03-3264-2519

(E-mail) me-honbu@marine-engineer.or.jp